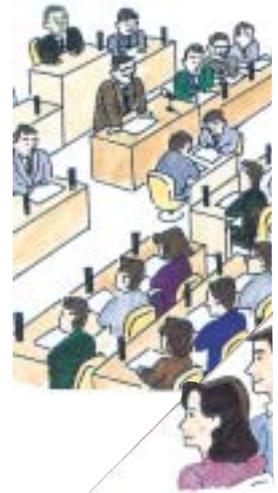


議 会 の 質 問 か ら



リベラル東大阪

代表質問 鳴戸 鉄哉 個人質問 木村 正治

市民のために集中改革プランを尊重し実行せよ！

公約に掲げた施策に対する財源を具体的に示せ！

・小中学生の基礎体力、府内の小中学生の基礎体力は多くの項目で全国平均値を下回っている。その原因としてグラウンドなど生徒の運動環境の乏しさ、放課後のクラブ活動における指導者不足などにあるのではないかと指摘してきたが、教育委員会としての今後の対策を示せ。

教育監 子供を取り巻く社会の変化による生活習慣や遊びの変化などさまざまな要因が考えられ、児童、生徒の健全な成長の観点から重要な課題としてとらえている。特に中学校におけるクラブ活動については指導者が不足している状況にあり、指導者の確保として外部指導者やラグビー指導員の配置を実施している。

・上下水道統合庁舎、上下水道統合庁舎建設は、二年余りにわたり議会で慎重審議を重ね決定したが、市長は市民参加での見直しを選挙公約で掲げている。これまでの経緯を踏まえ、市長自身の考え方を示すことが必要ではないか。

市長 先日、市政だよりで庁舎建設整備計画に関わる意見を求め、また市民アンケートで意見の募集を実施した。市民の声を聞くという公約、また市長の考えのもと職員とともに具体策について知恵を出し合うことが必要だと考える。市長として職員の先頭に立つて作業を進め、決断をする。



元気に飛び跳ねる子どもたち。友だちとの遊びが寒さに負けない体力づくりに役立っています。(八戸の里東小学校)

・地域生活支援事業、国が定める必須の事業と市独自の事業があるが、市独自の事業とはどのような事業があるのか。また移動支援事業では従来のサービスが低下しないのか。

福祉部長 必修事業以外のその他事業として日中一時支援事業、生活サポート事業、経過的デイサービス事業などがある。移動支援事業は、基本的にこれまで外出介護として支給決定してきた量を移行できるよう考えている。一方、今回公正、公平性の観点から見直しを図ったことにより支給量が下がる場合もある。

・障害者福祉施策、障害者自立支援法の施行に伴い、福祉現場が混乱しているが、当局はその混乱をおさえるため、緊急避難措置を含め市としてのどのような施策を講じるのか。

福祉部長 障害者自立支援法が成立してから法施行までの時間が限られていた中で、利用者や事業所に混乱がないよう各福祉事務所、障害者支援室への問い合わせに対し統一した対応に努めるとともに、市内の障害者生活支援センターの協力を得ながら説明会の開催やお知らせ等で理解を深めてもらうよう努めてきた。

市議会自民党クラブ

代表質問 上野 欽示

説明責任を回避せず、市長公約実現の筋道や市民福祉の向上策を示せ！

子どもたちの健全育成と虐待防止に全力を！

・市長公約について、第一期長尾市政時代、あなたが実現しなかった多くの公約のために、職員が苦しみ悩んでいたと聞いている。ある職員は「本市の財政状況を見ると誰が考えても実現できない市長公約を、長尾市長に従い市民にウソをつけて検討している」と言い続けてきたが、精神的にも体力的にも限界」と中途退職された。数多くの市職員からも市長のリーダーシップのなさや批判を聞くが、市長を信頼している

との言葉は、一人たりとも聞いたことがない。公約を実現するための財源確保の努力もしない口先だけの市長公約を掲げるのは、やめるべきである。今回の市長公約で、「中学校給食を実施」、「少人数(三十人)学級を実施」と、市民に約束されたが所信表明では、検討」と市長選挙の公約を翻し、大きく後退した発言をされるべきである。今回の市長公約で、中学校給食を実施、「少人数(三十人)学級を実施」と、市民に約束されたが所信表明では、検討」と市長選挙の公約を翻し、大きく後退した発言をされるべきである。今回の市長公約で、中学校給食実現の財源を示すことが求められています。(弥生給食センター)



市長公約である中学校給食実現の財源を示すことが求められています。(弥生給食センター)